



欄に数値またはコメントを記入

1. 建物概要

建物名称	和興フィルテクノロジー静岡第二工場 完成品倉庫棟	BEE	0.9	BEEランク	B-	★★
------	--------------------------	-----	-----	--------	----	----

2. 重点項目への取組み度

重点項目	得点*/満点	取組み度	評価
"ふじのくに地球温暖化対策実行計画"の推進 (Global Warming)	2.9 /5		がんばろう
"災害に強いしずおか"の形成 (Disaster)	2.7 /5		がんばろう
"しずおかユニバーサルデザイン"の推進 (Universal Design)	4.0 /5		よい
"緑化及び自然景観"の保全・回復 (Nature)	2.5 /5		がんばろう

※対応するCASBEEのスコア(平均)を5点満点で表示します。(スコア1.0=1点、スコア5.0=5点)	評価 凡例	よい 4 点以上	ふつう 3 点以上	がんばろう 3 点未満
--	-------	----------------	-----------------	-------------------

3. 重点項目についての環境配慮概要

各項目について配慮した内容を、該当する番号(①~)を示し記述してください。		内訳対応項目		
"ふじのくに地球温暖化対策実行計画"の推進(Global Warming)		得点	2.9	
<ul style="list-style-type: none"> ■室内環境対策 (①室温制御/②昼光対策/③グレア対策/④部品・部材の耐用年数) <ul style="list-style-type: none"> ④耐久性の高いガルバリウム鋼板を使用 ■室外環境(敷地内)対策 (⑤生物環境の保全と創出/⑥敷地内温熱環境の向上) ■エネルギー対策 (⑦建物外皮の熱負荷抑制/⑧自然エネルギー利用/⑨設備システムの高効率化/⑩効率的運用) <ul style="list-style-type: none"> ⑨LED照明の採用 ■資源・マテリアル対策 (⑪水資源保護/⑫非再生性資源の使用量削減/⑬汚染物質含有材料の使用回避) <ul style="list-style-type: none"> ⑫鉄骨造で躯体+軽鉄+仕上材が容易に分別可能 ⑬発砲剤を用いた断熱材なし ■敷地外環境対策 (⑭地球温暖化への配慮/⑮温熱環境悪化の改善) <ul style="list-style-type: none"> ⑭排出量を63%に抑えている 	Q-1 2 2.1 2.1.2 ① Q-1 3 3.1 3.1.3 ② 3.2 3.2.1 ③ Q-2 2 2.2 2.2.1 ④ 2.2.2 ④ 2.2.3 ④ 2.2.4 ④ 2.2.5 ④ 2.2.6 ④ Q-3 1 ⑤ 3 3.2 ⑥ LR-1 1 ⑦ 2 ⑧ 3 ⑨ 4 4.1 ⑩ 4.2 ⑩ LR-2 1 1.1 ⑪ 1.2 1.2.1 ⑪ 1.2.2 ⑪ 2 2.1 ⑫ 2.2 ⑫ 2.3 ⑫ 2.4 ⑫ 2.5 ⑫ 2.6 ⑫ 3 3.1 ⑬ 3.2 3.2.1 ⑬ 3.2.2 ⑬ 3.2.3 ⑬ LR-3 1 ⑭ 2 2.2 ⑮	① 外皮性能 ② 昼光利用設備 ③ 昼光制御 ④ 躯体材料の耐用年数 ④ 外壁仕上げ材の補修必要間隔 ④ 主要内装仕上げ材の更新必要間隔 ④ 空調換気ダクトの更新必要間隔 ④ 空調・給排水配管の更新必要間隔 ④ 主要設備機器の更新必要間隔 ⑤ 生物環境の保全と創出 ⑥ 敷地内温熱環境の向上 ⑦ 建物外皮の熱負荷抑制 ⑧ 自然エネルギー利用 ⑨ 設備システムの高効率化 ⑩ モニタリング ⑩ 運用管理体制 ⑪ 節水 ⑪ 雨水利用システム導入の有無 ⑪ 雑排水等利用システム導入の有無 ⑫ 材料使用量の削減 ⑫ 既存建築躯体等の継続使用 ⑫ 躯体材料におけるリサイクル材の使用 ⑫ 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用 ⑫ 持続可能な森林から産出された木材 ⑫ 部材の再利用可能性向上への取組み ⑬ 有害物質を含まない材料の使用 ⑬ 消火剤 ⑬ 断熱材 ⑬ 冷媒 ⑭ 地球温暖化への配慮 ⑮ 温熱環境悪化の改善		
	"災害に強いしずおか"の形成(Disaster)		得点	2.7
	<ul style="list-style-type: none"> ■サービス性能対策 (⑯耐震・免震/⑰信頼性) 	Q-2 2 2.1 2.1.1 ⑯ 2.1.2 ⑯ 2.4 2.4.1 ⑰ 2.4.2 ⑰ 2.4.3 ⑰ 2.4.4 ⑰ 2.4.5 ⑰	⑯ 耐震性 ⑯ 免震・制振性能 ⑰ 空調・換気設備 ⑰ 給排水・衛生設備 ⑰ 電気設備 ⑰ 機械・配管支持方法 ⑰ 通信・情報設備	
	"しずおかユニバーサルデザイン"の推進(Universal Design)		得点	4.0
	<ul style="list-style-type: none"> ■サービス性能対策 (⑱機能性・使いやすさ/⑲心理性・快適性/⑳空間のゆとり) <ul style="list-style-type: none"> ⑲階高を7.0mと高くしている ⑲壁長さ比率=0.08 ■室外環境(敷地内)対策 (㉑地域性・アメニティへの配慮) 	Q-2 1 1.1 1.1.3 ⑱ 3 3.1 3.1.1 ⑲ 3.1.2 ⑲ Q-3 3 3.1 ㉑	⑱ ⑱ ユニバーサルデザイン計画 ⑲ ⑲ 階高のゆとり ⑲ ⑲ 空間の形状・自由さ ㉑ ㉑ 地域性への配慮、快適性の向上	
"緑化及び自然景観"の保全・回復(Nature)		得点	2.5	
<ul style="list-style-type: none"> ■室外環境(敷地内)対策 (⑤生物環境の保全と創出/②まちなみ・景観への配慮/⑥敷地内温熱環境の向上) ■敷地外環境対策 (⑫持続可能な森林から産出された木材/⑮温熱環境悪化の改善) 	Q-3 1 ⑤ 2 ② 3 3.2 ⑥ LR-2 2 2.5 ⑫ LR-3 2 2.2 ⑮	⑤ 生物環境の保全と創出 ② ② まちなみ景観への配慮 ⑥ 敷地内温熱環境の向上 ⑫ ⑫ 持続可能な森林から産出された木材 ⑮ ⑮ 温熱環境悪化の改善		

CASBEE® - 建築(新築)

評価結果

■ 使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版 | 使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v4.01)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	和興フィルタテクノロジー(株)静岡第二工場	階数	地上1F
建設地	静岡県袋井市浅名字五ヶ山2134番地	構造	S造
用途地域	指定なし	平均居住人員	48人
地域区分	6地域	年間使用時間	3,000時間/年(想定値)
建物用途	工場	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2024年2月 予定	評価の実施日	2022年8月25日
敷地面積	65,119 m ²	作成者	大場 達也
建築面積	6,754 m ²	確認日	
延床面積	6,951 m ²	確認者	



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 0.9 ★★★★★

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★★★★★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

① 参照値: 100% (46 kg-CO₂/年・m²)

② 建築物の取組み: 63% (29 kg-CO₂/年・m²)

③ 上記+②以外の: 63% (29 kg-CO₂/年・m²)

④ 上記+: 63% (29 kg-CO₂/年・m²)

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです。

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質

Q1 室内環境

Q1のスコア = 0.0

音環境	N.A.
温熱環境	N.A.
光・視環境	N.A.
空気質環境	N.A.

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 2.5

機能性	1.5
耐用性	2.9
対応性	3.6

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 2.2

生物環境	1.0
まちなみ	3.0
地域性・	2.5

LR 環境負荷低減性

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 4.0

建物外皮の	N.A.
自然エネ	3.0
設備システ	5.0
効率的	2.0

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 2.7

水資源	2.2
非再生材料の	2.6
汚染物質	3.7

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.4

地球温暖化	4.4
地域環境	3.0
周辺環境	3.0

3 設計上の配慮事項		
総合	これはCASBEE静岡(2016年度版)による評価結果です。耐久性のある材料を選定し、ランニングコストがかからないよう省エネに努めています。	
その他	特になし。	
Q1 室内環境	対象外です。	Q2 サービス性能 耐久性の高いガルバリウム鋼板を使用し、メンテナンスがあまりかからないようにしています。また、将来の更新を見こして、階高にゆとりをもち、空間の形状の自由さを高めています。
Q3 室外環境(敷地内)	建物の外観は基調色をメインとし、周囲の景観に配慮しています。また、敷地周囲に緑地帯を設け、周囲の環境に配慮しています。	
LR1 エネルギー	LED照明を採用してBEI _m =0.34とし、省エネに努めています。	LR2 資源・マテリアル 鉄骨造で躯体+軽鉄+仕上材が容易に分別可能とし、再資源利用可能性の取り組みを行っています。
LR3 敷地外環境	適切な量の駐車スペースや荷捌きスペースの確保をし、交通負荷抑制に配慮しています。	

■ CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■ Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■ 「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■ 評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される